※令和３年度以前入学生用

学校番号	3020

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	要説世界史　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	ダイアローグ世界史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代を中心に学習します。近代以前については各文化圏の成立と、その交流に注目して概観していきます。日本史Ｂのように各時代を均等に扱うわけではないので、そこで慌てないように。
教科書の内容を世界の空間的広がり・時間的推移の中で理解していく必要がありますから、必ず図録と教科書を合わせて用いて理解を深めるようにしましょう。
教科書の記述は非常に簡略なものになっています。授業のノートを作成し、授業中の気づきや補足を書いて知識を補うことで、より良い理解につとめましょう。

２　学習の到達目標

・近代以前の諸地域世界の特質と相互の交流について、地理的条件や文化的な特徴などと関連付けて理解できるようになる。
・近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史とも関連付けながら諸資料に基づき多面的に考察できる能力を身に付ける。
・現代世界における人類の課題を追究し、歴史的観点から考察できる力を身に付ける。
・国際社会に主体的に生きる日本国民として、歴史的思考力や他国との協調の態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の諸地域の歴史と文化の特質について関心を持ち、日本と各地の交流や、歴史的事象が現代社会に与えた影響について学ぼうとしているか。	歴史的事象を時間的・地理的な因果関係と結びつけて理解し、客観的な視点で考察して適切に表現できているか。	地図や表・グラフその他の資料から情報を読み取り、教科書の記述と関連させて理解できているか。	歴史事象に関する用語を知り、その内容が理解できているか。各地域の文化的な特質が形成された歴史的経緯や社会状況の変化について理解できているか。
評価方法	学習状況の観察 授業中の発言・発表 レポート	定期考査 授業中の発言・発表 レポート プリント・ノート	定期考査 レポート プリント・ノート	定期考査 小テスト
	［主題学習］ 振り返りシート	［主題学習］ レポート 報告会での発表内容	［主題学習］ ポスター	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代文明の形成　諸地域世界の形成と交流	古代文明の形成 東アジア世界・内陸アジア世界 南アジア世界・東南アジア世界 西アジア世界 ヨーロッパ世界 諸文明を結ぶネットワーク	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:諸地域世界の特色と周辺地域との関連に関心を持つことができたか。 b:東アジア世界・南アジア世界・東南アジア世界・西アジア世界・ヨーロッパ世界の形成と交流について、儒教文化と朝貢・冊封体制や、イスラーム・キリスト教と、それぞれを軸とする文明圏との関係を考察し、適切に表現できているか。 c:考古学資料や地図を適切に活用して理解を深めているか。 d:各地域世界を形成した民族と宗教や文字などの文化的特色を理解できたか。	a:学習状況 発表 b:発表 レポート プリント ノート c:定期考査 プリント ノート d:定期考査 小テスト
	結びつく世界　ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	アジアの諸帝国 近世ヨーロッパの形成と発展 革命の時代の到来	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:明清時代の東アジアと周辺地域、イスラーム世界の再編に関心を持ち、産業革命や市民革命がこんにちの社会に与えた影響について学ぼうとしたか。 b:近世に入り、世界が一体化し始めたことに気付けたか。革命における人々の行動や、革命のもたらした社会的影響について考察し、適切に表現できたか。 c：アジアの大帝国やヨーロッパ人の世界進出について地図を有効に活用できたか。市民革命の時代の社会を考察する際に、絵図の読み解きなど資料活用ができたか。 d: 中国・西アジアの帝国の他民族支配の特色、ヨーロッパで成立した主権国家の在り方、産業革命と市民革命の内容と意義について理解できたか。	a:学習状況 発表 b:発表 レポート プリント ノート c:定期考査 プリント ノート d:定期考査 小テスト

※令和３年度以前入学生用

2学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成　アジア諸国の変貌	自由主義と国民主義の進展 オスマン帝国の動揺と民族の自覚 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの変容と日本の動向	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパでの市民社会の発展、アジアへの列強の進出、東アジアの近代と日本の関係に関心を持ち、学ぼうとしたか。 b:イスラーム勢力と西欧諸国の関係が変化したことに気付けたか。東南アジアの植民地化と商品作物の関係、東アジア諸国の開国の差異を比較して考察できたか。 c:絵図や風刺画などを社会情勢の考察に活用できたか。地図・写真・グラフなどを植民地化や貿易構造の変化の考察に活用できたか。 d:欧米における国民国家の形成の進展、ロシアの南下政策や英仏のアジア・アフリカ進出、中国の開国による朝貢・冊封体制の崩壊など、19 世紀後半に世界が大きく変化したことについて理解できたか。	a:学習状況 発表 b:発表 レポート プリント ノート c:定期考査 プリント ノート d:定期考査 小テスト
	世界戦争と平和	帝国主義の成立と列強の情勢 世界分割とアジア・アフリカ 二つの世界大戦とその影響	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:アジア各地での民族運動の高まりに関心を持ち、世界戦争の原因と影響について学ぼうとしたか。 b:工業化の進展によって世界の一体化が一層進んだこと、世界分割の進行が列強間の対立をもたらすことに気付き、世界戦争の背景を考察できたか。 c:写真や文字資料などから帝国主義の時代特有の要素を見出すことができたか。地図を有効に活用して世界分割と世界大戦の考察に役立てられたか。 d:アフリカ・太平洋・中国への列強の進出、各地の民族運動の成功と挫折について理解できたか。第二次世界大戦の経緯と戦争の影響の大きさについて理解できたか	a:学習状況 発表 b:発表 レポート プリント ノート c:定期考査 プリント ノート d:定期考査 小テスト

※令和３年度以前入学生用

3学期	三つの世界の形成　グローバル化する世界	冷戦期の世界と日本	○		○	○	a:冷戦期から多極化・グローバル化していく世界の変化、政治と経済の相関関係に関心を持ち、現代世界の諸課題を主体的に学ぶ態度を伸ばせたか。 b:諸民族の自立が冷戦構造を変えていったことに気付けたか。米ソのリーダーシップの低下、社会主義諸国の改革と市場経済への移行について、背景や原因から考察できたか。 c:地図を活用して冷戦期の世界を、表・グラフを活用して世界経済の変化の考察に役立てられたか。 d:冷戦体制の成立から緊張緩和・多極化の時期を経て、世界経済がグローバル化した現在にいたる経緯、その間の産業・金融の構造変化を理解できたか。	a:学習状況 発表 b:発表 レポート プリント ノート c:定期考査 プリント ノート d:定期考査 小テスト
		アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題		○		○		
		米ソ両大国の動揺	○	○		○		
		大国の動揺と国際経済の危機	○	○	○	○		
		社会主義の後退と冷戦の終結	○	○		○		
		グローバル化と多極化	○		○	○		
		地球社会への歩み	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解